科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：人間関係を学ぶ ILAS Seminar :Introduction to interpersonal relationships			担当者所属 職名・氏名	学生総合支援機構 講師　　和田　竜太		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	共北11			使用言語	日本語
キーワード	人間関係 / コミュニケーション / 体験学習 / 身体 / 五感						

[授業の概要・目的]

本授業のテーマである「人間関係を学ぶ」という言葉を見て、どのようなことが思い浮かぶでしょうか。大学生活では、これまでより幅広い人間関係を築く機会や場をもつようになる人も多いことでしょう。また同時に、自分がどのような人間関係をどの程度もつかについての自由度は今まで以上に増すことでしょう。人間関係に対するスタンスは人それぞれ違っても、人間関係においてどのようなことがポイントとなるかについては共通したものがあるかもしれません。しかしながら、「人間関係を学ぶ」と言っても、この授業は必ずしも「人間関係を上手に築く方法」や「人間関係を円滑に保つ（進める）やり方」をただ聞いて学ぶ、というものではありません。この授業の中で様々な状況・環境に身を置き、そこでの他の人（たち）とかかわりを通して、人間関係においてどのような姿勢・ありようがポイントとなるかについて、みなさん自身が体験的に学ぶ機会となればと思います。

[到達目標]

人間関係は、自分と相手（他者）との相互作用を通して形作られていく創造的な営みと言えるでしょう。その背後では、自分自身について、あるいは相手（他者）に対して、様々な感情（気持ち）や感覚（感じ）が動いていると考えられます。この授業では、そうした自分自身の感情（気持ち）や感覚（感じ）にアプローチするとともに、相手（他者）の感情（気持ち）や感覚（感じ）を想像すること、さらには「相手（他者）の身になる」ことの意味やその重要性について学ぶ機会にしたいと思います。この授業で体験的に人間関係を学ぶことを通して、自分自身や他者への理解を深め、人間関係における姿勢・ありようのポイントを自ら見出すこと、また様々なグループワークの中で自分自身の感情（気持ち）や感覚（感じ）を表現する力を身につけ、他の人（たち）とコミュニケーションを取りディスカッションを行う姿勢・意欲を養うことを目標とします。

[授業計画と内容]

小グループによる様々なグループワークやディスカッションを中心に行っていきます。また、粘土などの素材も用いながら、感情（気持ち）だけでなく、感覚（感じ）、特に身体の感覚（感じ）にふれるワークも交え、普段はなかなか意識することの難しい「五感」をいかに人間関係の中で活かしていくか、についても学ぶ機会としたいと思います。
授業予定は以下の通りです。（スケジュールや内容は変更する場合があります。）

第1回：オリエンテーション・自己紹介
第2回：他己紹介
第3回：アイスブレイク1
第4回：アイスブレイク2
第5回：コンセンサス1
第6回：一方通行のコミュニケーション・双方向のコミュニケーション
第7回：ことばによるコミュニケーション・非言語によるコミュニケーション

ILASセミナー ：人間関係を学ぶ(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：人間関係を学ぶ(2)

第8回：ブラインドウォーク
第9回：五感で感じたことを言葉で伝える・イメージする
第10回：粘土
第11回：コンセンサス2
第12回：チームワーク課題1
第13回：チームワーク課題2
第14回：授業のまとめ
第15回：フィードバック

[履修要件]

この授業を履修するにあたって、事前に必要なことは特にありません。ただし、この授業は連続した内容の実習形式の授業ですので、欠席した場合にはその後の参加に支障が出ることがあります。毎回出席し、主体的・積極的に授業に参加することを前提に受講してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（80点）、期末レポート（20点）により評価します。

・平常点（80点）：継続的に授業に参加した上で、グループでの活動およびその中での話し合いに積極的に関与していたか、また話し合いの中で自ら感じたこと・思ったことなどを発言したり、他の人の発言を聞いて自ら感じたこと・思ったことと比較し理解しようとしていたか、などの点から評価を行います（40点）。また、毎回の授業で感じたこと・思ったことなどを、次の回の授業時にレポートとして提出してもらいます。レポートに書かれた内容が課題に対して適切な内容・記述になっているか、および自らが感じたこと・思ったことを踏まえてさらに考察を行っているか、などの点から評価を行います（40点）。
・期末レポート（20点）：この授業を通して感じたこと、思ったこと、考えたことなどについて学期末にレポートとして提出してもらいます。この授業の中で自身が体験したことに目を向け、感じたことや思ったことなどについて可能な範囲で言葉にし、自分なりに考察を行っているか、などの点から評価を行います。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
必要なテキスト、資料等については授業担当者が用意します。参考文献はその都度紹介します。

[授業外学修（予習・復習）等]

授業を通して興味・関心をもったことなどについて調べたり本を読んだりなどといった自主的な学習は、他の授業等に支障の出ない範囲で行ってください。なお、この授業自体については、あまり知識に偏りすぎないよう、その場で自らが感じたこと・思ったことを大事にしながら参加してもらえたらと思います。

[その他（オフィスアワー等）]

・授業は基本的に教室で行いますが、場合によっては屋外で行うことがあるかもしれません（交通費が必要になることはありません）。念のため、各自、学生教育研究災害傷害保険に加入しておいてください。
・オフィスアワーについては、特に日時の指定はありません。随時受け付けます。